

ハマンモス決起集会

マンモス都知事選では、候補の決起集会にも三万人が。(武道館で)



信州人を追って

0.7.0

都外都民も熱い視線

東京には、都外から都内に通勤している人が、ケタ外れに多い。国勢調査(五十年)によると、さりと二百万人。長野県の移入人口に匹敵する人たちが、日中だけ都内で過ごす。都外都民だ。

都知事に注文したいことはいっぱいある。住宅事情から埼玉に住んで、生活実感には都民と変わりません」と、選挙権を持たない「大都市財政のひ」道は、住居を

は、一人当たり百万円の負担増を強いられた計算だ。知事選が告示される前の先月九日、参議院予算委員会で共産党の上田耕一郎氏が「大都市財政のひ」道は、住居を

外から丸ノ内の銀行に通う長田芳夫さん(三十三)長野市出身。「そり、都内に住みたい。けど、都営住宅は入れないし、都内のアパートは高い。いすれ信州へ帰るつもりだからマイホームを建てても、市街地再開発で安い住宅を作ると、期待しているんで

東京都の調査だと、昨年一年間、約百万人から遠くに求めるをえないうに他県に転出したのは六十五万人。このうち二十万人近くが、は、一地方自治体では解決できないレベルの問題だ」と財源配分の見直しを政府側に迫った。

野県では、県内に転居するながら、一票を持たない悲しきで、空白地帯に置き去りにされているのが現状。(おわり)



私の一票
よくよく考えて
中野隆雄(東京外語大学教授)
(板橋区常盤台・松本市出身)
大田、鈴木、麻生の三派から推薦決まろうと思っています。